

令和4年10月27日

段位審査会時の礼法について

長崎県剣道連盟

理事長 藤原昌史

審査・審判委員長 松尾耕次

次のようにご指導ください。

実技審査時について

① 相互の礼は一組ずつ行なう。

※中央審査で実施している二人並んでの礼は行なわない。

中央審査では時間の節約から二人並んでの礼を実施していますが
県内では一組ずつ実施させて下さい。ある審査会で二人で実施しているところがあり、子供たちは審査の時はそうするものと思ひ込んでしまいます。
全剣連にも中央審査会の礼法を見直ししていただく旨の意見書を出したいと思ひます。

形 審査時について

① 入場後 立会人の号令で正面への礼を行う。

その後 互いに向かい合った状態の時、立会人が「打太刀」「仕太刀」を手で示しながら知らせ、立会人の「始め」の合図で受審者各自「相互の礼」から開始する。

※一本目を始める前に「打太刀」「仕太刀」を知らせているところが多いようです。

礼式も「打太刀」リードで実施するには最初に知らせておく必要があります。

ただ正面の礼は一斉に実施するため立会人で行います。